

株式会社アイケイ
2020年5月期 第3四半期決算（連結）
補足説明資料

（東証2部・名証2部：2722）

株式会社 アイケイ

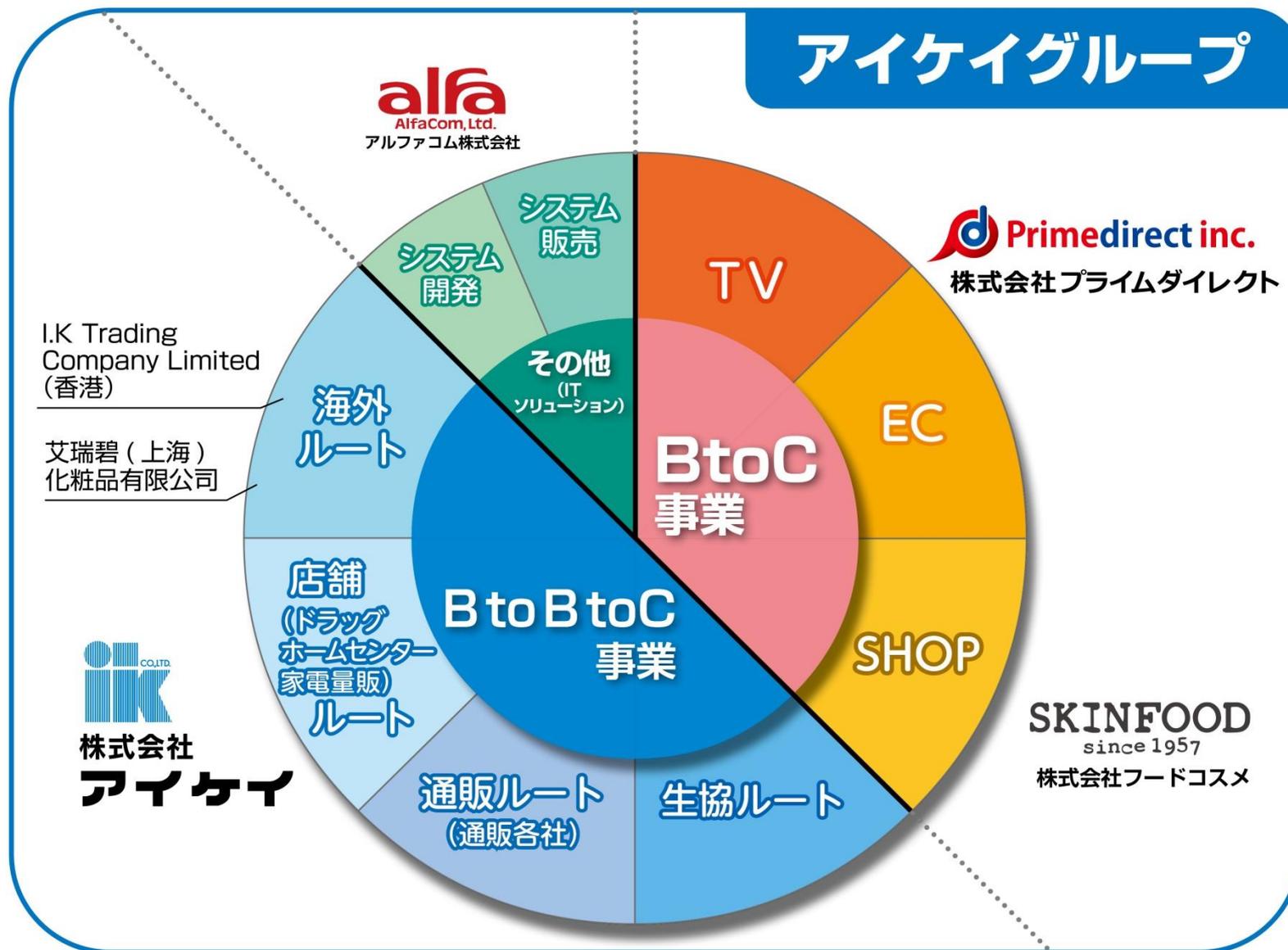


2020年5月期 第3四半期決算実績（連結）

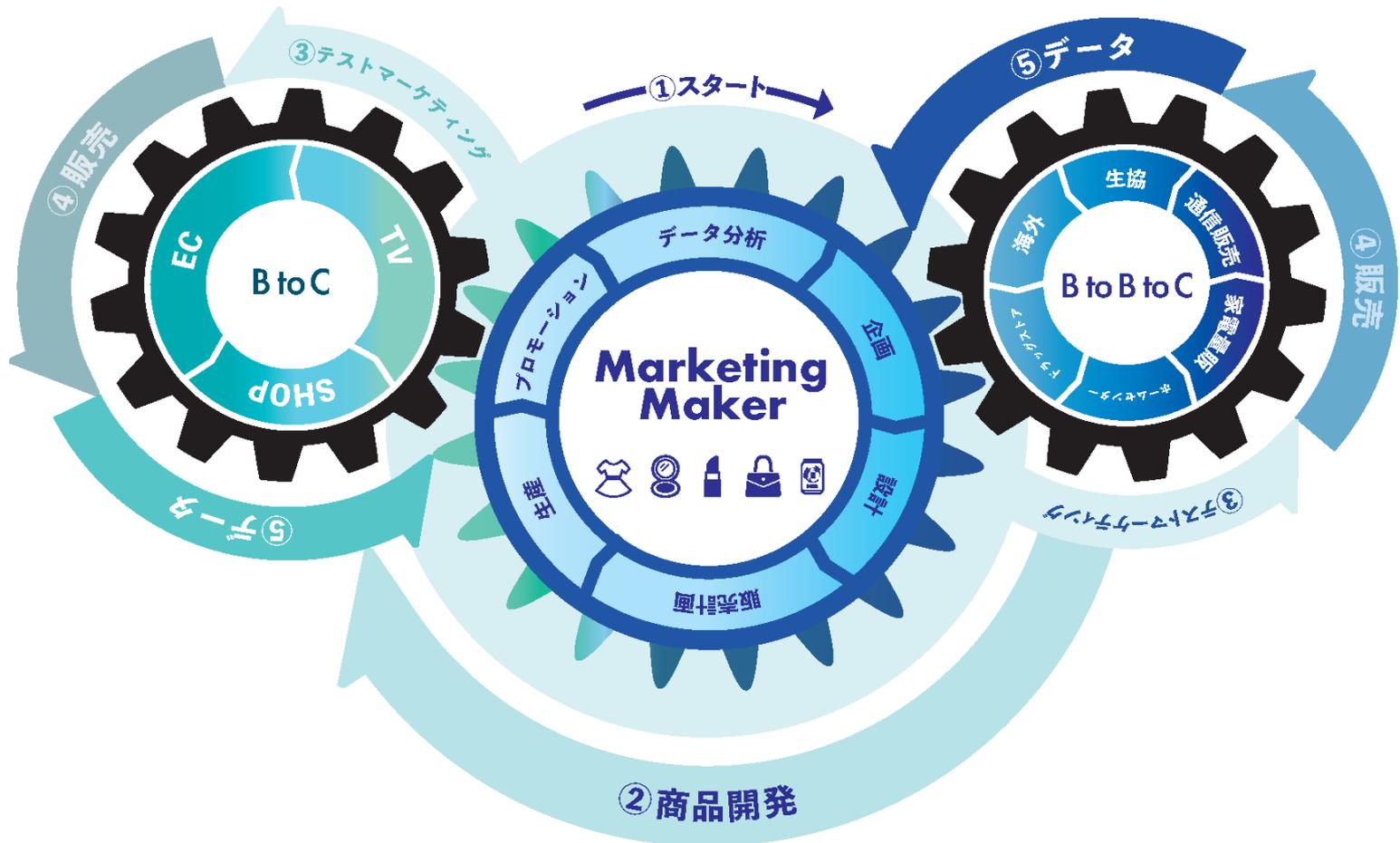
2020年5月期 通期業績予想（連結） P.11

ご参考 P.13

当社グループの事業系統図



当社グループのビジネスモデル = マーケティングメーカー



アイケイは独自のプロモーション戦略で、商品の**企画・製造・販売・物流**を
 自社で一貫して行う**マーケティングメーカー**です

2020年5月期 第3四半期決算の総括(ハイライト情報)

(単位：百万円、%)

	前3Q 実績	当3Q 実績	前期比	主な要因
売上高	13,423	13,864	103.3	前第3Qと比較してBtoC事業で486百万円の増収、BtoBtoC事業で57百万円の減収、その他で11百万円の増収となり、全体では440百万円増収し売上高は13,864百万円となりました。
営業利益	274	393	143.3	売上総利益率は、前第3Qより3.3ポイントUPの48.2%となりました。販管費比率は荷造運賃費等の増加により2.5ポイントUPしたものの、営業利益は118百万円増の393百万円となりました。
経常利益	282	394	139.6	経常利益も営業利益同様に111百万円増の394百万円となりました。
親会社株主に 帰属する四 半期純利益	173	244	141.0	親会社株主に帰属する四半期純利益は、前第3Qより71百万円増の244百万円となりました。

セグメント別売上高

(単位：百万円、%)

	前3Q 売上高	当3Q 売上高	構成比	前期比	要 因
B to C 事業	4,680	5,167	37.3	110.4	TVショッピングでの売上は引き続き好調に推移し、BtoC事業全体での売上高は486百万円増収の5,167百万円となりました。
B to B to C 事業	8,561	8,504	61.3	99.3	BtoBtoC事業の売上高は生協ルート、店舗ルート、海外ルートで堅調に推移したものの、通信販売ルートで減収となりましたことから、全体では57百万円減収いたしました。
その他	180	192	1.4	106.6	M-Talk（チャットシステム）の売上が順調に推移しており、売上高は11百万円の増収となりました。
合 計	13,423	13,864	100.0	103.3	

(注) なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しており、本資料内の前年四半期比較につきましては、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

セグメント別営業利益

(単位：百万円、%)

	前第3Q 営業利益	当第3Q 営業利益	営業利益率	前期比
B to C 事業	26	285	5.5	1,077.9
B to B to C 事業	255	79	0.9	31.1
その他	△8	△10	—	—
合 計	274	393	2.8	143.3

(注) セグメント利益の調整額が前第3Qでは0百万円、当第3Qでは39百万円あります。

主要経営指標

	2019年5月期 第3Q実績	2020年5月期 第3Q実績
売上高総利益率 (%)	44.9	48.2
営業利益率 (%)	2.0	2.8
経常利益率 (%)	2.1	2.8

主要販管費

(単位：百万円、%)

	2019年5月期第3Q実績		2020年5月期第3Q実績	
	金額	売上比	金額	売上比
人件費	1,073	8.0	1,114	8.0
広告宣伝費	2,539	18.9	2,707	19.5
荷造運賃費	852	6.4	988	7.1
販管費合計	5,755	42.9	6,293	45.4

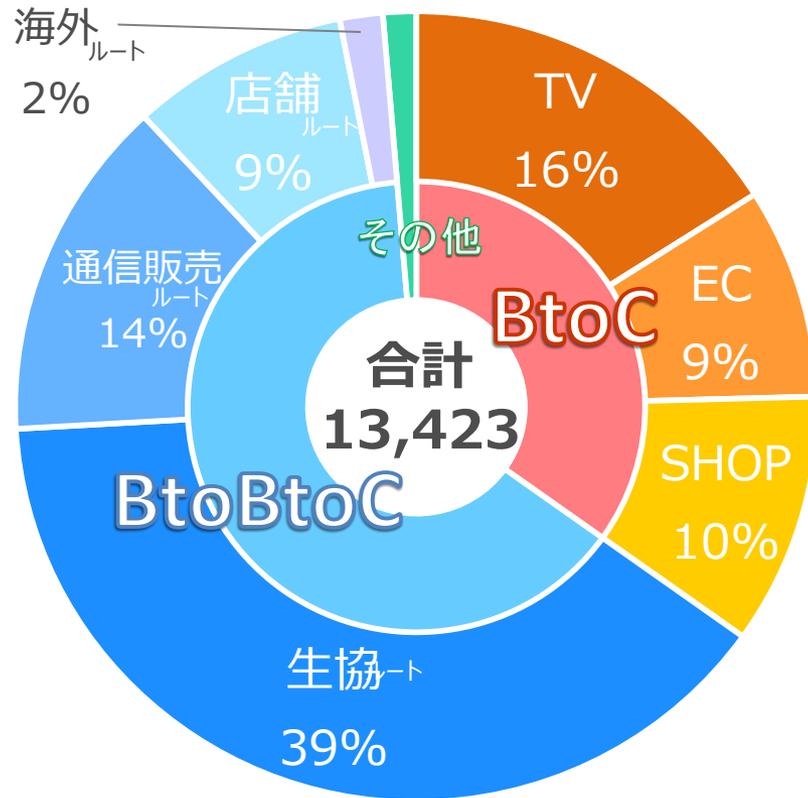
TVショッピングでの売上拡大を図るため、TVショッピングでの広告宣伝費を増加したことから、広告宣伝費の売上比率は前第3Qと比較して0.6ポイントUPいたしました。さらに荷造運賃の上昇により荷造運賃費の売上比率も前第3Qと比較して0.7ポイントUPしました。これらにより販管費の実額は前第3Qより537百万円増加し、販管費の売上比率も前第3Qと比較して2.5ポイントUPいたしました。

財政の概要

	2019年5月期 第3Q実績	2020年5月期 第3Q実績
総資産（百万円）	6,629	6,955
純資産（百万円）	2,623	2,662
自己資本比率（%）	39.6	38.2
1株当たり純資産（円）	350.83	366.15
1株当たり四半期純利益 及び四半期純損失（円）	23.17	33.03

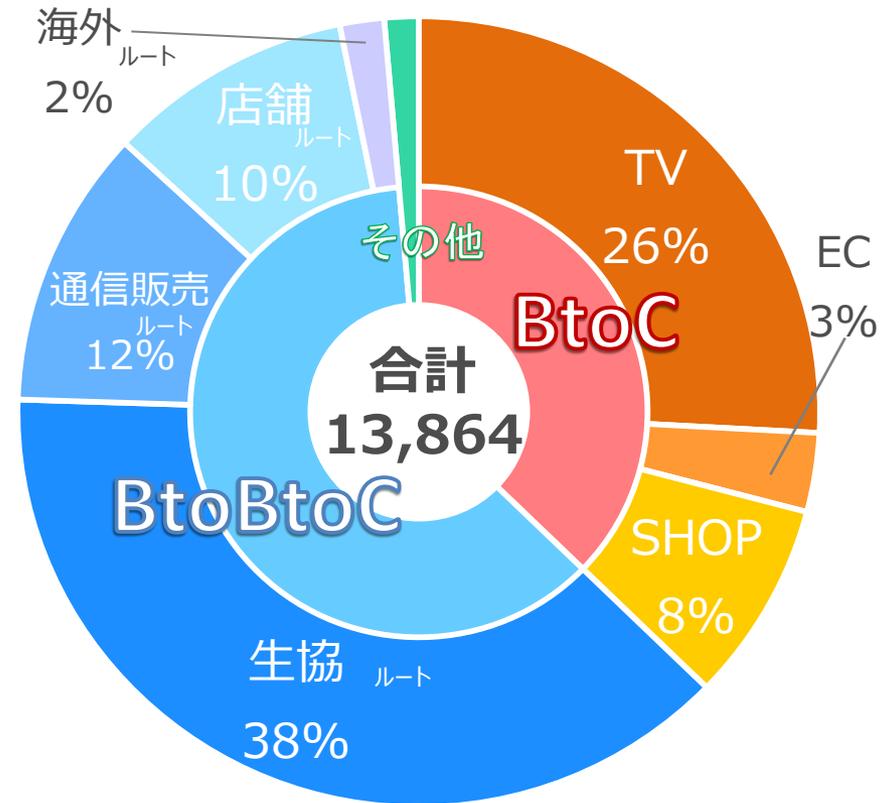
販路別売上内訳

2019年5月期 第3Q



2020年5月期 第3Q

(単位：百万円)



2020年5月期 第3四半期決算実績（連結） P.1

2020年5月期 通期業績予想（連結）

ご参考 P.13

業績予想

(単位：百万円、%)

	2019年5月期 通期 (実績)			2020年5月期 通期 (予想)		
	金額	構成比	前年比	金額	構成比	前年比
売上高	17,614	100.0	96.1	16,946	100.0	96.2
営業利益	431	2.5	48.1	577	3.4	133.6
経常利益	437	2.5	48.7	585	3.5	133.6
親会社株主に帰属する当期純利益	238	1.4	37.1	402	2.4	168.8
1株当たり配当金	12円			12円		

2020年5月期 第1四半期決算実績（連結） P.1

2020年5月期 通期業績予想（連結） P.11

ご参考

株式会社アイケイ

本社	: 名古屋市中村区名駅三丁目26番8号 KDX名古屋駅前ビル5F
代表者	: 代表取締役会長 飯田 裕、代表取締役社長 長野 庄吾
設立	: 1982年5月1日
資本金	: 401百万円
連結売上高	: 17,614百万円 (2019年5月期)
連結経常利益	: 437百万円 (2019年5月期)
連結総資産	: 6,818百万円 (2019年5月期)
連結純資産	: 2,688百万円 (2019年5月期)
従業員	: 291名 (2019年5月期 連結)
上場市場	: 東京証券取引所市場第二部・名古屋証券取引所市場第二部 証券コード: 2722

- 1982年 5月：アイケイ商事有限会社を設立
- 1983年 4月：愛知県生活協同組合連合会との取引を開始
- 1991年 4月：有限会社から株式会社へ組織変更 社名を株式会社アイケイに変更
- 2001年12月：JASDAQ上場
- 2005年12月：プライベートブランド「ローカロ生活」販売開始
- 2009年 6月：株式会社フードコスメ（現100%子会社）を設立
- 2010年12月：アルファコム株式会社の株式取得（100%子会社）
- 2013年 2月：プライベートブランド化粧品「LB」販売開始
- 2014年 9月：株式会社プライムダイレクトの株式取得（100%子会社化）
- 2017年 8月：I.K Trading Company Limited（100%子会社）設立
- 10月：艾瑞碧(上海)化粧品有限公司（間接所有60%）設立
- 2018年 2月：東京証券取引所(市場第二部)市場変更、名古屋証券取引所(市場第二部)上場
- 5月：グレースヤス株式会社の株式取得(100%子会社)
- 2019年 9月：グレースヤス株式会社を吸収合併

自社開発商品（化粧品）



< LB >



< B!FREE+ >



< intima >



< SKINFOOD >

自社開発商品（雑貨品）



< スピードヒートベスト >



< LOCOX >



< ステップエイト >



< エアーヨン >

自社開発商品（食品）



< 熟成黒にんにく >



< はとむぎエキス >



< ローカロ生活 >



< プロシア8 >